

今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済（2016年10月）

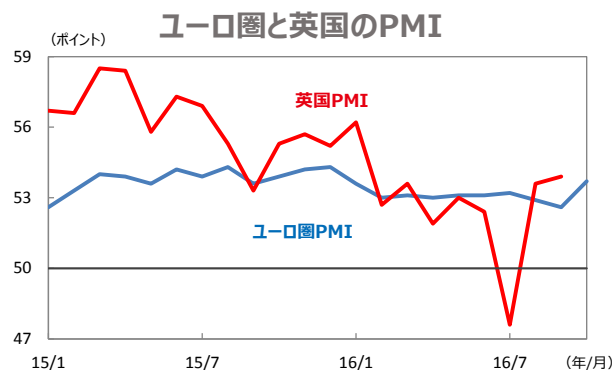
景気は底堅い展開：株式市場をサポート

ポイント1 ユーロ圏PMIは改善

英国PMIも続伸

■ 10月のユーロ圏PMI（総合）は53.7となり、前月（52.6）から大きく改善し、今年最高となりました。9月は、英国のEU離脱選択の影響から、20カ月ぶりの低水準となりましたが、急回復しました。業種別にみると、製造業が53.3と、2年半ぶりの高水準となりました。なかでもドイツのPMI改善が目立っています。

■ 一方、9月の英国のPMI（総合）は53.9となり、急反発した8月（53.6）に続き、上昇しました。ポンド安を背景に輸出需要が急増し、製造業のPMIが大幅上昇しました。

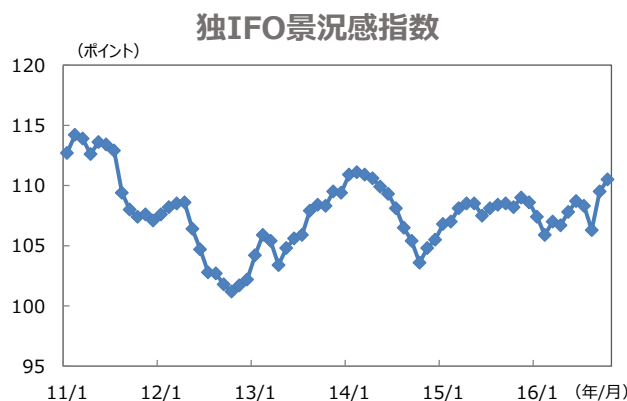


（注）データ期間は2015年1月～2016年10月。英国PMIは2016年9月まで。
（出所）Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 独IFO景況感指数も上昇

ドイツの景気拡大を示唆

■ ドイツのIFO経済研究所が発表した10月の独IFO景況感指数は110.5となり、市場予想（109.6、ブルームバーグ）を上回りました。今後6カ月の景況感を示す期待指数も引き続き上昇しており、ユーロ圏で最大規模を誇るドイツ景気の拡大が当面続くことを示唆しています。



（注）データ期間は2011年1月～2016年10月。
（出所）Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 低金利、ユーロ安が欧州株式市場の追い風に

■ ユーロ圏では、景況感を示す経済指標を見る限り、英国のEU離脱選択による実体経済への影響は限定的ようです。製造業の景況感の上昇を踏まえると、ユーロ圏の生産活動（景気循環）は今後上向くと見られます。

■ 市場では、米国の利上げ観測の高まりと共に、欧州中央銀行（ECB）が12月の理事会で追加緩和を行うとの見方が強まり、ユーロが下落しています。景気循環の上向きに加え、低金利、ユーロ安が欧州株式市場にとって追い風となりそうです。

ここもチェック！ 2016年10月21日 ECBの金融政策（2016年10月）
2016年10月13日 大幅に改善した「ZEW景況感指数」（欧州）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。